

ベクロメタゾン点鼻液50 μ g「サワイ」

モルモット鼻アレルギーモデルにおける鼻腔抵抗上昇に対する抗アレルギー作用

試験製剤	ベクロメタゾン点鼻液50 μ g「サワイ」
標準製剤	アルデシンAQネーザル50 μ g

＜方法＞

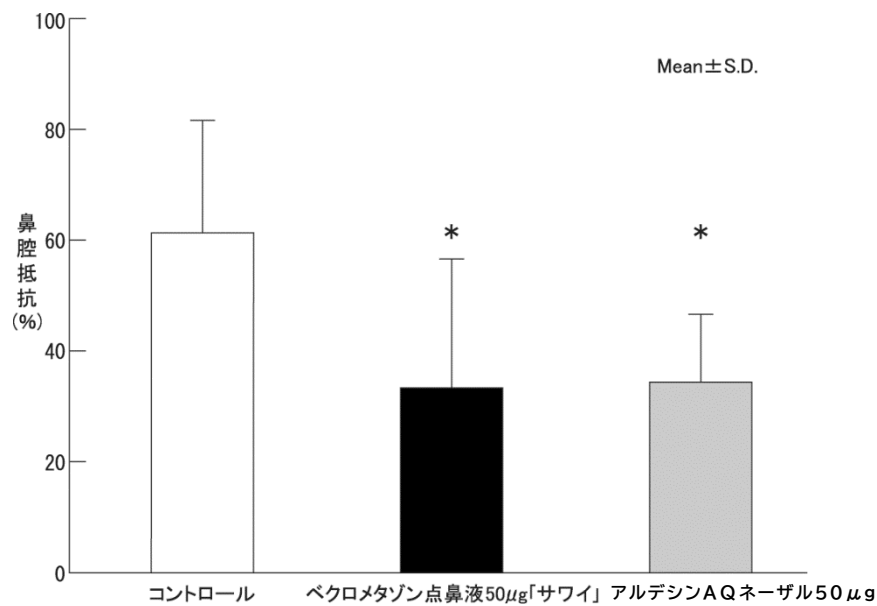
モルモット(Hartley系、雄性)に抗OA(Ovalbumin)モルモット血清を用いて感作させ、モルモット鼻アレルギーモデルを作製した。ベクロメタゾン点鼻液50 μ g「サワイ」又はアルデシンAQネーザル50 μ gを抗原注入5分前に左右の鼻腔内に2回ずつ、計4回点鼻し、鼻腔抵抗の変化をブロンコスパスムトランスデューサーを用いて測定し、算出した。

結果は鼻腔を完全閉塞した時の送気圧を最大抵抗とし、最大反応時の鼻腔抵抗を百分率(%)で表した。

＜結果＞

ベクロメタゾン点鼻液50 μ g「サワイ」及びアルデシンAQネーザル50 μ g投与群はコントロール群に対して鼻腔抵抗上昇の有意な抑制を示し、ベクロメタゾン点鼻液50 μ g「サワイ」投与群とアルデシンAQネーザル50 μ g投与群には有意な差を認めなかった。

以上の結果により、モルモット鼻アレルギーモデルにおいて両剤は同等の薬理効果を有する製剤であると判断した。



*: $p < 0.05$ vs コントロール
(Tukey-Kramerによる多重比較検定)

ラット鼻灌流モデルを用いた鼻粘膜血管透過性亢進に対する抗アレルギー作用

試験製剤	ベクロメタゾン点鼻液50 μ g「サワイ」
標準製剤	アルデシンAQネーザル

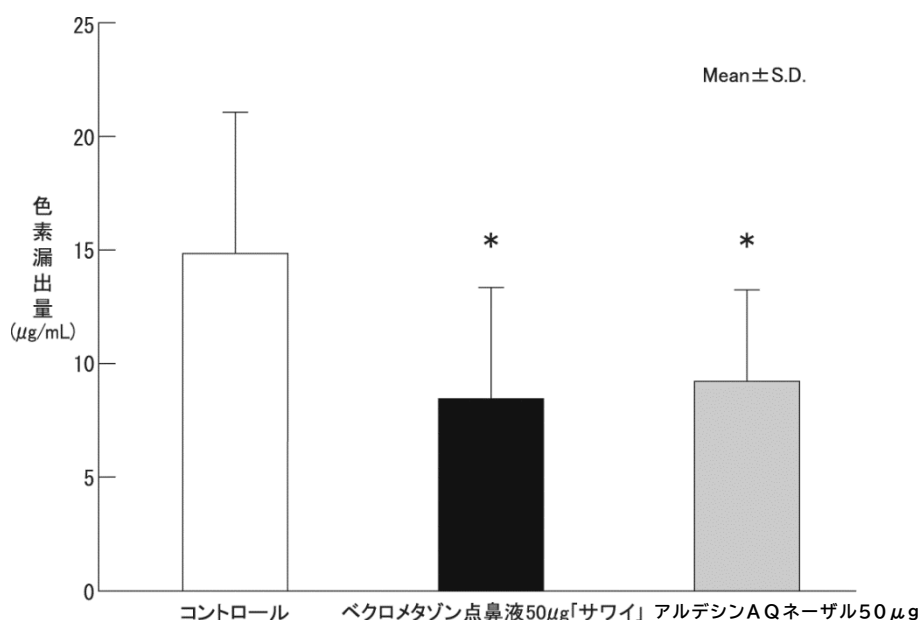
<方法>

ラット(Wistar系、雄性)にOA(Ovalbumin)及び百日咳死菌アジュバントを用いて感作させ、ラット鼻灌流モデルを作製した。ベクロメタゾン点鼻液50 μ g「サワイ」又はアルデシンAQネーザル50 μ gを投与し、50分後に尾静脈より4%PSB(ポントミンスカイブルー)生理食塩水溶液を投与した。その後、灌流し、灌流液中の色素量を測定し、求めた色素濃度から鼻粘膜での血管透過性について評価した。

<結果>

ベクロメタゾン点鼻液50 μ g「サワイ」及びアルデシンAQネーザル50 μ g投与群はコントロール群に対して鼻粘膜での血管透過性亢進の有意な抑制を示し、ベクロメタゾン点鼻液50 μ g「サワイ」投与群とアルデシンAQネーザル50 μ g投与群には有意な差を認めなかった。

以上の結果により、ラット鼻灌流モデルにおいて両剤は同等の薬理効果を有する製剤であると判断した。



(ベクロメタゾン点鼻液 50 μ g「サワイ」: n=10、アルデシンAQネーザル 50 μ g: n=12、コントロール: n=9)

* : p<0.05 vs コントロール
(Tukey-Kramerによる多重比較検定)